禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B59

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 左官 学科試験問題
(左官作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　本焼き鏝は、下塗り及び中塗りに使用される。

2　四半鏝は、中首鏝の一種である。

3　木造直張りラスモルタル下地のラスの継ぎ目の重ね代は、50mm以上とする。

4　ラス下地のセメントモルタル塗りにおいて、下塗りは、ラスの厚さよりも薄く塗るとよい。

5　逃げ墨は、柱や梁などの中心を示す墨である。

6　大津磨きの灰土塗りは、下塗りのことである。

7　コンクリート下地の乾燥が著しい場合は、合成樹脂エマルション吸水調整材塗りを行うとよい。

8　ドロマイトプラスター塗り仕上げにおいて、上塗りにすさを混入する目的の一つに、上塗り層のひび割れを防止することがある。

9　左官下地用セメントモルタルに細目の砂だけを使用すると、網状ひび割れが起きやすいため、粗目の砂を混ぜるとよい。

10　エフロレッセンス(白華)は、壁の下地材料や塗り層に含まれる可溶性塩類が壁面に析出する現象である。

11　かき落し粗面仕上げにおけるかき落しは、塗り付けたかき落し材が完全に乾燥した後に行うとよい。

12　左官用のウインチは、材料等の水平運搬に使用される機械である。

13　壁のタイル張り工事を密着張り工法で行う場合、タイルは、壁の下部から張り付けるとよい。

14　見切り縁とは、仕上げ材料が変わる箇所に入れる部材をいう。

15　パーライトは、吹付け仕上げの材料に適している。

16　フライアッシュは、無機質のセメント混和材である。

17　ロックウールは、建物の吸音材料には使用しない。

［A群（真偽法）］

18　色モルタル塗りを行うALCパネル下地には、吸水調整材等により下地処理を行う必要がある。

19　無双窓とは、壁下地のこまい竹が現れている窓をいう。

20　色の三原色とは、赤、緑及び青をいう。

21　SRC造は、鉄筋コンクリート造の略称である。

22　真壁とは、柱が隠れるように仕上げた壁をいう。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の平面表示記号は、出入口一般を表す。



24　耐火構造における壁、梁、床及び屋根の耐火性能は、耐火時間で表す。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、3m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　左官用器工具に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　サンドペーパーの粒度は、番数が大きくなるほど粗くなる。

ロ　高圧水洗浄機は、表面が風化したセメントモルタル、ほこり等を除去するのに使用する。

ハ　機械鏝は、コンクリート床仕上げには使用できない。

ニ　下塗りに使用する鏝は、一般に、硬い材質のものが適している。

2　次のうち、こまいかきに使用しない工具はどれか。

イ　なた

ロ　はさみ

ハ　のこぎり

ニ　くわ

3　壁下地に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　ラスシートは、一般に、鉄骨下地に使用される。

ロ　木造の単層下地通気工法の外壁には、波形ラスは適していない。

ハ　せっこうラスボード下地への下塗りには、ドロマイトプラスターを使用してもよい。

ニ　平滑なコンクリート下地には、セメントモルタルの付着をよくするために目荒らしをする。

4　次のうち、天井、床、梁などの高さを求めるための基準となる墨はどれか。

イ　心墨

ロ　つけ代墨

ハ　ちり墨

ニ　陸墨

5　せっこうラスボード下地に下塗り及び中塗りを行う場合、現場調合せっこうプラスターと砂の調合(容積比)として、適切なものはどれか。

	【下塗り】	【中塗り】
イ	1：1	1：1
ロ	1：1.5	1：1
ハ	1：1.5	1：2
ニ	1：2	1：3

6　現場調合セメントモルタル塗り工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　セメントモルタルの調合は、仕上げ側に塗られるものほど強度を高くする。

ロ　ALCパネルには、現場調合セメントモルタル塗りは適していない。

ハ　セメントモルタルの練り混ぜは、機械練りを原則とする。

ニ　粉末状の混和材料は、から練りのときに混入する。

［B群（多肢択一法）］

7　漆喰塗りに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　漆喰塗りの作業中は、通風をよくする。

ロ　漆喰塗りに使用する材料は、消石灰、すさ、糊（のり）等を練り混ぜたものである。

ハ　漆喰に糊材を混入する目的は、保水性と作業性をよくするためである。

ニ　漆喰塗りの上塗り材料に入れるすさは、さらしすさが適している。

8　せっこうプラスター塗り工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　湿式工法である。

ロ　水や砂に含まれているアルカリ等の不純物は、凝結硬化に影響しない。

ハ　せっこうプラスターは、硬化時間が調整されている。

ニ　無収縮性のため、材料によるひび割れが少ない。

9　塗り壁の故障とその原因の組合せとして、適切でないものはどれか。

	【故障】	【原因】
イ	エフロレッセンス(白華)	下地の振動
ロ	かび	下地の未乾燥
ハ	色むら	顔料の調合不良
ニ	噴裂(ふけ)	石灰の消化不良

10　木構造のラス系下地の施工順序として、適切なものはどれか。

イ　アスファルトフェルト張り→ラス張り→セメントモルタル下塗り
　→セメントモルタル上塗り

ロ　ラス張り→アスファルトフェルト張り→セメントモルタル下塗り
　→セメントモルタル上塗り

ハ　ラス張り→セメントモルタル下塗り→アスファルトフェルト張り
　→セメントモルタル上塗り

ニ　セメントモルタル下塗り→ラス張り→アスファルトフェルト張り
　→セメントモルタル上塗り

11　次のうち、単管足場に使用しないものはどれか。

イ　自在型クランプ

ロ　固定型ベース金具

ハ　単管ジョイント

ニ　アームロック

［B群（多肢択一法）］

12　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

(　　)は、結晶質で硬く、美しく、耐久性に富む石材として、建築物の外部を中心に最も多く使用されているが、硬いため施工費がかさむこと、含有鉄分によりさび色が出るおそれがあること、耐火性が比較的低いことなどの問題点もある。

イ　大理石
ロ　花崗岩
ハ　石灰岩
ニ　砂　岩

13　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

公共建築工事標準仕様書によれば、補強コンクリートブロック造における1日の積上げ高さの上限は、(　　)m程度とすることとされている。

イ　1.0
ロ　1.2
ハ　1.6
ニ　2.0

14　左官用材料に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　消石灰は、空気中の炭酸ガスを吸収して硬化する。
ロ　せっこうプラスターは、硬化に伴い膨張する。
ハ　ドロマイトプラスターには、糊材を混入する必要がある。
ニ　早強ポルトランドセメントは、粉末度を高くすることにより早強性を図っている。

15　左官用顔料に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　塗り材料の硬化を阻害しない。
ロ　日光や風雨等で変色しにくい。
ハ　耐アルカリ性である。
ニ　粉末の粒子が粗いほど、着色力が大きい。

16　次のうち、ドライウォール工法に使用しない材料はどれか。

イ　シージングせっこうボード
ロ　ジョイントテープ
ハ　せっこう系SL(セルフレベリング)材
ニ　コーナービード

17　せっこう置き引き工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　原寸図を元にあらかじめ部材を作り、現場において取り付ける工法である。
ロ　設計図から原寸を転写する台紙は、美濃紙又はトレーシングペーパーがよい。
ハ　引き台から部材を容易にとるため、石けんを使用することがある。
ニ　中込めは、部材の肉厚が少ないときに使用する。

［B群（多肢択一法）］

18　次のうち、左官造形・装飾に関係のない用語はどれか。

イ　擬木
ロ　蛇腹
ハ　フレスコ画
ニ　ささら桁

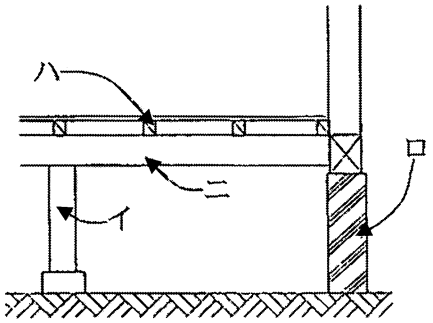
19　次のうち、有彩色はどれか。

イ　白色
ロ　黒色
ハ　赤色
ニ　灰色

20　建築構造に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　枠組壁構法は、ツーバイフォー構法ともいう。
ロ　集成材構造は、学校建築物などの大型公共施設に採用されている。
ハ　壁式構造は、柱を鉛直方向、梁を水平方向に配置し、接合部を強く固めた構造である。
ニ　在来軸組構法は、木材で土台、柱、桁、梁などの主要な部材を組み立ててつくる架構式の構造である。

21　次図のつか立て床の断面において、大引きを表すものはどれか。

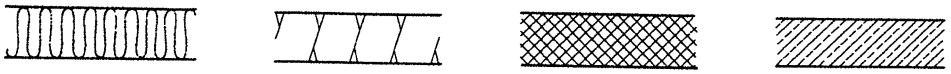


22　木造建築物の部材と使用場所の組合せとして、適切でないものはどれか。

	【部材】	【使用場所】
イ	火打ち梁	床
ロ	野縁	天井
ハ	内のり長押	出入口
ニ	胴差し	基礎

［B群（多肢択一法）］

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図の材料構造表示記号のうち、割栗を表すものはどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

24　建築基準法関係法令によれば、主要構造部でないものはどれか。

イ　梁
ロ　床
ハ　小梁
ニ　階段

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、建築工事の架設通路に使用する高さ8m以上の登り桟橋には、(　　)m以内ごとに踊場を設ける。

イ　6
ロ　7
ハ　8
ニ　9